

図書館だより

— Library NEWS —

Vol.1

2017年



今月のおすすめ本

毎号、キーワードを元に関連した本を紹介しします。教職員や生徒の感想も掲載しますので、「おもしろそう!」「読んでみたい!」と思ったら、図書館に行ってみましょう。

キーワード「直虎」

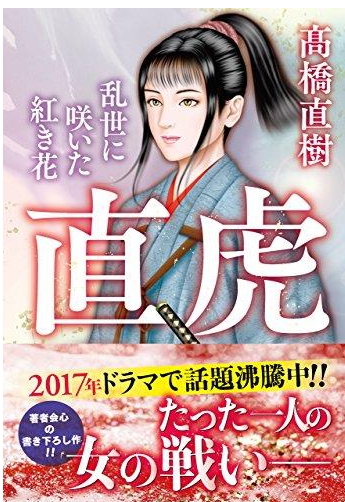


■ 小和田哲男 『井伊直虎』 ~戦国井伊一族と東国動乱史~

2017年のNHK大河ドラマは、幕末の大老井伊直弼のご先祖「女城主直虎」。直虎（1536頃～1582）は、関ヶ原の戦いで東軍の功労者井伊直政（1561～1602）の義理のおばで、1564～1568年井伊家の統率者となった尼僧です。直虎の時代、遠江と何らかの関わりがあった戦国大名は、今川・武田・北条・上杉・織田・徳川。なぜ彼女は男性の名前の尼僧に？なぜ彼女が井伊家を統率する立場に？義理の甥直政が家康の家来として活躍した様子は？

日本を代表する歴史学者の一人小和田哲男氏の幅広い知識と視野の広さ、緻密な史料分析から浮かび上がる古代から江戸初期までの井伊氏像は明瞭です。

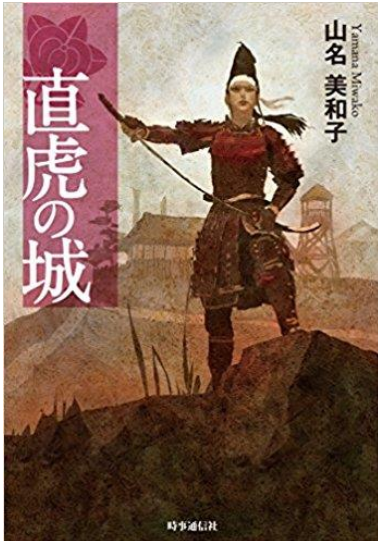
学校長 茨城 久一郎 先生



■ 高橋直樹 『直虎の城』

2017年のNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」の主人公、井伊直虎。彼女の生年はおろか、幼名すら記録に残っていない。だが、彼女が己の実力を尽くして、井伊家を守り抜いたことは、江戸末期の大老・井伊直弼の存在からもうかがい知れるだろう。そんな彼女の生涯を、史実に基づく想像力で生き生きと描かれた一冊。大河ドラマの時代考証を担当する小和田氏も推薦するこの本を、ぜひとも読んでいただきたい。

3AHR 佐藤 あい



■山名美和子 『直虎の城』

この物語は、女城主となった井伊直虎が、井伊家を守り抜いたという半生を描いています。この物語の舞台は浜松市で、物語の中には浜名湖というような私たちにもなじみのある地名も出てきて、少し親近感が湧いてきました。歴史的にもめずらしく女城主となった直虎には、何か、女の強さというものを感じます。井伊家の構成を理解してから読むと、さらに、この物語の理解が深まり、よりおもしろさが伝わってきます。

101HR 足立 春奈



■森下佳子 『おんな城主 直虎』

この本は、女城主となった井伊直虎の幼少期から直虎が城主となるまでの話が描かれています。この本は大河ドラマで使われた台本をもとに作られた本なので、大河ドラマと並行して読むことができます。

この本は長編ですが、大河ドラマの内容と似ているので、あまり本を読まないという人も読みやすい本だと思うので、読んでみてください。

203HR 下村 優果

次回のキーワードは・・・

「犬」

成年にちなんで「犬」にまつわる様々なジャンルの本を紹介します。

おたのしみに！！！！

製作・発行

図書委員会